

報道関係者 各位

放送批評懇談会

**発表！2024年6月度ギャラクシー賞月間賞**

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで62年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年の受賞作を決定いたします。2025年5月下旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。放送の専門誌・月刊「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース（<https://houkon.jp/galaxy-database/>）」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

放送批評懇談会

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS

Facebook



X (旧Twitter)



Instagram



<お問い合わせ先>

NPO法人 放送批評懇談会／担当：福島
〒160-0022 新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F
Tel：03-5379-5521 Fax：03-5379-5510
kondankai@houkon.jp <https://www.houkon.jp/>

放送批評懇談会



2024年6月度ギャラクシー賞月間賞

ドラマ 25「季節のない街」

4月5日～6月7日放送 24:42～25:13 テレビ東京

めぐりめぐっての最終回、乱闘暴発騒動の派手な終宴には不思議な説得力を感じさせられた。またそれが、世界を引っ繰り返してしまうような決定的な大爆発とはならず、妙に諦念的な静かな収まり方に転じて幕となるところには、企画・監督・脚本の宮藤官九郎のこの時代、この社会への悲痛で哀切な視線もあるのかもしれない、と思わされた。

アンメット ある脳外科医の日記

4月15日～6月24日放送 22:00～22:54 関西テレビ放送 MMJ

終盤の川内ミヤビと三瓶友治のクローズアップが多用されたナチュラルで深みのある対話シーンは、杉咲花と若葉竜也でしか成立しなかったと思うが、そこに持って行った脚本、演出やスタッフの力量と志の高さも高く評価されるべきだろう。連続ドラマに新しい表現の可能性を拓いたと言っても過言ではない。

E TV特集「死亡退院 さらなる闇」

6月29日放送 23:00～24:00 日本放送協会

昨年の衝撃的告発スクープ報道が社会を震撼させた、滝山病院の患者虐待。しかしあれだけ明瞭にその犯罪の実態が暴かれたにもかかわらず、改善されぬままの無惨な状況がいまだにずるずると続いていることに驚かされる。行政、医療界、患者家族そしてわれわれ自身を含む社会の劣悪さ、そして報道の力の限界に暗然とする思い。

NHKスペシャル「法医学者たちの告白」

6月30日放送 21:00～22:00 日本放送協会 VOZ NHKエデュケーショナル

ドラマの華やかなイメージを完全に否定するような法医学者の実態を、4人の証言をもとに構成した労作。アメリカは警察から独立した中立的な専門官であるのに、人も予算も増えないなか、効率化を求められる日本の現実は厳しい。犯罪の見逃しや冤罪につながる重圧に苦しむ法医学者たち。その告白、いや告発が衝撃的だった。

★詳細は月刊誌「GALAC」2024年9月号に掲載します